

信じれば夢は叶う!

小口由希子 (協和発酵キリン(株) バイオ生産技術研究所)

仕事の内容とやりがい

私は現在、製薬会社に勤めています。入社して六年ほどは薬の品質評価の研究に携わっていました。新入社員の頃は念願であった抗体医薬の開発チームの一員であることが嬉しく、実験やディスカッションにウキウキしながら取り組んでいました。経験を積んだ後はさらにチャレンジングな構造解析も任せられ、予想外の分子種を同定できた瞬間は本当にワクワクしたのを覚えています。半年前から研究所の人材育成や研究段階にあるプロジェクトの推進に携わっていますが、実験室から会社全体へと自分の世界が一気に広がった感覚に新たなおもしろさを感じています。

進路決定のきっかけ

もともと工学部を志望したのは、ドラえものの道具のように人の役に立つものを自分の手で作りたいという夢があったからです。医薬の世界に関心を持ったのは、大学三年生の時でした。父から勧められて読んだ雑誌でキリンビールの抗体医薬開発の記事に出会い、自分のやりたいことはこれだと直感しました。さらに、東北大学熊谷研究室にて抗体分子の医療への応用を研究テーマとしたことで夢が目標になり、就職活動ではキリンビール(株) 医薬カンパニー(現:協和発酵キリン(株))を志望しました。

仕事と生活のバランス

現在、三歳の息子が一人います。夫と二人で協力しながら育児と仕事に取り組んでいますが、育児に十分な時間とエネルギーがかけられず、自己嫌悪に陥ることもしばしばです。最近はこちらも完璧にこなすのは無理だと割り切り、短い時間でも子供と過ごす一瞬一瞬を大切にしよう心がけています。また、私は育児休暇を一年ほど取得した後、しばらくは育児短時間勤務を利用して仕事に復帰しました。短時間で集中してより効率的に仕事に取り組むことで、育児休暇取得後も期待される成果を出すことができるようになりました。

進路選択に対してのメッセージ

私は高校生の時から抱いていた夢を医薬品の開発という形で実現するチャンスを得ることができました。今思い返すと、その過程には私を導いてくれた運命的な出会いが沢山ありました。ぜひ、皆さんも自分の能力に限界を設けず、無限の可能性を信じてやりたいことにどんどん挑戦してみてください!そうすれば絶対に、沢山の出会いと進むべき道が見えてくると思います。応援しています!

<小口由希子(おぐちゆきこ)プロフィール>

宮城県第一女子高等学校(現:宮城県宮城第一高等学校)卒業
 東北大学工学部化学バイオ系(現:化学・バイオ工学科)卒業
 東北大学大学院工学研究科生物工学専攻(現:バイオ工学専攻)卒業
 キリンビール(株) 医薬カンパニー(現:協和発酵キリン(株))入社
 入社三年目で社内結婚、入社五年目で出産及び育児休暇取得
 復職(現職)